

差出人 " " < >
送信日時 2026年08月05日 (水) 13:46
To: "環境保全課" <kankyohozen@city.sammu.lg.jp>
Cc: " " < >
標題 うみとみらい通信第3号の送付 (首都圏CCS)

このメールは、SmoothFileを利用して添付ファイルを分離しています。
下記のURLにアクセスしてファイルをダウンロードしてください。

■ URL

■ ファイル名¥【確定版】首都圏CCS_うみとみらい通信第3号.pdf

山武市 環境保全課

谷様

分類区分 F08・01・054 第 号			
課長	副主幹	係員	担当
		横尾	谷

平素より大変お世話になっております。

首都圏CCSの と申します。

うみとみらい通信につきまして、 から担当を引き継いでおります。

合議 施行日 8/5 決裁日 8/5 起案日 8/5 内容に修正
があれば、赤で
記入してください。

掲題につき、うみとみらい通信第3号を作成しておりますので、添付の通り送付いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、8/12 (水) までに内容をご確認いただけますと幸いです。

また、配布方法・部数などにつき変更御座いましたらご教示頂きたくよろしくお願いいたします。

変更なし

以上となりますが、引き続き何卒よろしくお願いいたします。

首都圏CCS株式会社
社会共生ユニット 渉外・広報グループ

HP:



==== INPEX Confidentiality Notice ====

This e-mail, including any attachments, is intended solely for the addressee(s) and may contain confidential or legally privileged information. If you have received this e-mail in error, please notify the sender by return e-mail and delete all copies of this e-mail. INPEX reserves the right to access e-mails sent to or from INPEX e-mail addresses in accordance with data protection law and other local regulations.

(Japanese version)本メールの本文及び添付ファイルには機密情報が含まれております。送信者の意図した受信者以外が誤って本メールを受信された際には、速やかに送信者にお知らせ頂いた上、本メールの本文および添付ファイルを確実に破棄くださいますようお願い申し上げます。また、誤って受信された本メールの本文および添付ファイルの複製、転送、その他の使用はご遠慮ください。なお、INPEXにおいては当社のシステムを通じたメールの送受信状況を監視・追跡させて頂く場合がございます。

第3号

うみとみらい通信

2026年9月1日発行

九十九里沖の地下調査で何が分かる？



うみとみらい通信について

私たちは、九十九里沖でCCS「二酸化炭素（CO₂）を地下に閉じ込める技術」が安全に実施できるかを確認するための調査を進めています。この通信では、調査の内容や進み具合、安全への取り組みについて分かりやすくお伝えしていきます。

今月の
トピックス

CCS(CO₂地下貯留)に適した地層が確かめるため
九十九里沖 約5km地点で地下調査をしています



地下調査で何が分かる？

CO₂を地下に安全に長期間閉じ込めるためには、「貯留層」と「遮へい層」の存在が重要です。九十九里沖では、これまでの水溶性天然ガスの開発・生産で得られたデータから【CO₂の貯留に適した地層】がある可能性が高いと考えられています。

今回の地下調査では、海底に調査用の井戸を掘り、岩石や地層のデータを取得します。これにより、CO₂を安全に貯留できる地層が実際にあるかどうかを確認できます。

✓現在は1本目の地下調査段階です。調査段階でのCO₂の地下貯留は行いません。

✓調査中に発生したゴミは、船で鹿島港へ輸送し産業廃棄物として処理し、海洋投棄はしません。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
準備			現在				
掘削(1本目)							
			海水の圧入試験				
			井戸の安全閉鎖・機材の片付け				
				2本目掘削の準備			
				掘削(2本目)			
				井戸の安全閉鎖・機材の片付け			

Q.なぜ九十九里沖なのか？

これまでのデータから、国内有数の【CO₂貯留に適した地層】がある可能性が高いと考えられるからです。

Q.掘削装置だけで調査できるの？

資材を運ぶ船と作業員を運ぶヘリコプターが必要です。ヘリコプターは土日を除き毎日3便が運航中です。

Q. 調査終了後、調査用井戸はどうなる？

井戸は完全に閉鎖し、漁業に影響がでないようにします。作業用の掘削装置も完全撤収します。

地域の皆さまへ

調査の状況や安全への取り組みは、今後も「うみとみらい通信」やコミュニケーションセンター「うみとみらい」(〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関2347-98地先)を通じてお伝えしていきます。

「うみとみらい」には、スタッフが常駐しております。ご不明な点やご心配なことがありましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

営業時間：
10時～16時
休館日：火曜日、
水曜日、年末年始



＼場所はこちら／



今月の豆知識

Q.「掘削装置」で働く作業員は、どのくらい海上に滞在するの？

A. 作業員は2～4週間ほど掘削装置に滞在し、1日2交代で作業を行います。そのため、装置内には宿泊設備が整っています。



発行：首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット

千葉県千葉市中央区問屋町1-35

お問い合わせ：043-375-6531

<https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php>

＼お問い合わせフォーム／

